

Athena2013 プログラム提案書

企画名

Acceleration of Theoretical and Experimental Research Networking for Career Advancement of Women in Physics (略称:Athena プログラム)

1. 目的:

国際版の Women in Physics (WIP) 活躍支援事業の中でも 2013 年度は、アジア太平洋地域の女性研究者活躍支援事業 (Asia-Pacific Women in Physics) の一環として、これからの成長と活躍が期待される若手・中堅女性研究者が個人で日本の最先端研究施設や研究環境のもとで共同研究を行う機会を提供してキャリア形成を支援し、さらには長期的な共同研究の芽を育てる。

2. 実施期間

平成 25 年 4 月～

可能な限り APCC12 の期間 (2013 年 7 月 14 日～19 日) を含む期間が望ましい。

3. 対象

アジア太平洋地域において活躍する若手・中堅女性研究者, 女子大学院生

4. 期待される成果

アジア太平洋地域の女性研究者育成を通じて、将来にわたる共同研究の芽を育てる。参加女性研究者は我が国の最先端研究施設や研究環境を体験するとともに、最先端研究機関等との共同研究の契機を作ることができる。受け入れ機関側は男女共同参画推進の姿勢を国内外にアピールし、多様な研究者との共同研究による研究の進展が期待できる。

5. 受け入れ機関の役割

- (1) 各研究機関は、海外共同研究員招聘等の募集に際し、可能な場合は「APCC12 開催にちなみ Athena プログラムに賛同してアジア太平洋地域の女性研究者の共同研究への応募を奨励する」旨を明示することが望ましい。
- (2) 共同研究の募集から始まって、選考、採択、及び研究経費や旅費・滞在費の負担に至るまですべてを、各研究機関はそれぞれの規定に従って独自に行っていただく。ただし、招聘研究者の APCC12 への参加については、積極的に支援していただきたい。

6. (日本物理学会) WG の役割

- ・アジア太平洋物理学会連合 Women in Physics 作業部会 (AAPPS WIP-WG) 等のネットワークを通じた本プログラムと協賛機関の広報
- ・候補研究機関の紹介など応募希望者・応募者からの相談に対応
- ・候補者の紹介など受入機関からの相談への対応

- ・プログラム成果の受け入れ機関への報告及びその公表

7. プログラム参加者に期待されること

- ・共同研究の実施希望者は、各々が直接希望研究機関へ応募する。
- ・共同研究の推進
- ・日程的に可能であれば、APPC12のWIPのセッションにおいて共同研究の成果または途中経過を紹介する。
- ・その他（Athenaプログラム参加についての感想文、あるいは共同研究報告書の写しをWGへ提出する）

8. 実施組織の概要

日本物理学会男女共同参画推進委員会および日物応物男女共同参画連絡会（日物委員）からなるWG委員：嘉規香織，笹尾真実子，高山一，田島節子，鳥養映子，森初果

9. 申し入れ機関（候補）

自然科学研究機構 核融合科学研究所

自然科学研究機構 分子科学研究所

高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所

高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所

高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設

高エネルギー加速器研究機構 共通基盤研究施設

情報・システム研究機構

日本原子力研究開発機構 先端基礎研究センター

日本原子力研究開発機構 J-PARC センター

理化学研究所 基幹研究所

理化学研究所 仁科加速器研究センター

理化学研究所 放射光科学総合研究センター

物質・材料研究機構

産業技術総合研究所

放射線医学総合研究所

東京大学 物性研究所

東京大学 生産技術研究所

東京大学 宇宙線研究所

東京大学 カブリ数物連携宇宙連携機構（IPMU）

京都大学 基礎物理学研究所

東北大学 金属材料研究所

東京工業大学 応用セラミックス研究所

その他外国人研究者・学生を受け入れるプログラムを実施中の大学・大学院